

とよなか



# まちづくり手帖

令和元年(2019年)

6月発行

## 第8号



旧商家・酒蔵を活かしたまちの拠点 伊丹郷町館

### INDEX

- それゆけ!まちづくり探検隊!!～兵庫県伊丹エリア～ 1・2P
  - お悩み相談室 教えて!谷先生 3P
  - 各地区で地区計画の取組みが広がっています 4P
  - まちづくり人リレー 5P
  - まちづくり掲示板 6P
  - 第28回まちづくりセミナー 7P
- 関係人口を育む!オモろい街のAtoZ

(回覧)






それゆけ!

# まちづくり探検隊!!

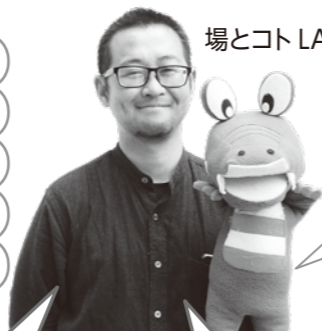
このコーナーでは、マチカネくんが豊中市を飛び出してまちづくり活動をしているさまざまなまちを探検するよ!

さあ!! 今回もぼくと一緒に大冒険のはじまりワニー!

## 伊丹エリア



こんにちワニ〜。関係人口って聞いたことあるかな? 交流人口と定住人口の間にあって、観光以上、移住未満の新しい人の動きを表現する言葉なんだって。今回探検するまちは…豊中市のお隣の伊丹エリア! 伊丹は、JR大阪駅及び阪急梅田駅から十数分の距離にある人口20万人のベッドタウンで、関係人口を育む町なんだって。どんなところがあるのかな? 楽しみワニ〜♪



場とコトLAB 代表 中脇健児さん

今回ボクと一緒にまち探検してくれるのは、伊丹エリアのまちづくりに長年関わっておられる「場とコトLAB」代表の中脇健児さんだワニ。中脇さんどうぞよろしくお願ひしますワニ!



伊丹郷町館

立派な町家があるワニ!

こんにちは、マチカネくん! 伊丹エリアようこそ。私は、今から17年前、芸術大学を卒業後、財団法人伊丹市文化振興財団(現在は公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団)の職員として就職しました。そこで、まちの資源である公共文化施設を活かすことをきっかけにまちづくりに関わるようになり、今は独立し、地域ブランディングやプロジェクトファシリテーターなどを行っています。

伊丹は、清酒発祥の地で、また文化施設が充実しています。さらに、まちに関わる人をどんどん増やす「遊べる街」として注目が集まっています。今日は、そんな伊丹エリアの関係人口を増やすホットな場所を紹介するので、ぜひ楽しんで行って下さいね。



阪神・淡路大震災の被害を受け、歴史ある建造物が取り壊され、また空家も目立つようになり、中心市街地の商業地の危機が予測されたので、1998年頃、行政と商工会議所が中心となって、景観を意識したまちの再生に取り組みました。

現存する日本最古の酒蔵なんだって〜



この伊丹郷町館があるあたりは、伊丹の中心市街地で、現在も歴史的建造物があり、古き良きまちなみを残しています。

そうなんだ〜その結果、どう変化したのかな?

## EVENT 鳴く虫と郷町

開催時の様子 /



その結果、ソフト面でも様々なイベントが開催されるようになり、例えば、毎年9月には、伊丹市昆虫館と市民が協働して、秋の虫の音をめぐる「鳴く虫と郷町」が開催されます。メイン会場の伊丹郷町館以外に公共施設、銀行、郵便局などに約15種3,000匹の秋の虫が展示され、音楽ライブ、星見会、飲食店での限定メニューなど関連イベントも多数あり、まちぐるみのイベントに育ってきています。



鳴く虫と郷町打ち合わせの様子

## 伊丹市立図書館 ことば蔵

1階はギャラリーや広い交流スペースがあるワニ!



地下1階の多目的室は120人が入れるワニね。

ハード面でも市民と行政などが力を合わせたまちづくりが進んでいます。図書館「ことば蔵」が、蔵書の増加や中心市街地活性化を目的に伊丹市郊外にあった図書館を移転し、2012年にオープンしました。「ことば蔵」の基本コンセプトは、だれでも気軽に訪れることができる「公園のような図書館」です。「図書館に行かない人をどう呼び込むか?」立ち上げから、図書館の職員以外に市民や事業者などが意見を出し合い、作り上げてきました。今では、年間200回を超えるイベントが開催され、交流の拠点となっています。

井上 雅史さん 木村 幸夫さん

ここは、関西最大級の無料ローカルフェス ITAMI GREENJAMの事務局、モグラカフェです。

## モグラカフェ



シャッター商店街などの地域課題も意識し、商店街で10年ほど使われなかったビルをDIYでカフェやアトリエからなる複合ビルによみがえらせました。



おおつか かつし 大塚 克司さん おおほら さとる 大原 智さん

イベントは年1回だけで、イベントを通してできた関係を、年間通してつなげ、もっと身近に感じてもらえる場所を! という思いで、モグラカフェをオープンしました。

## EVENT ITAMI GREENJAM

開催時の様子 /



ITAMI GREENJAM は、昆陽池公園を舞台にアーティストのライブをはじめ、マーケット、フードコートなど毎年2日間で2万人を集客するイベントで、2019年は9月22〜23日開催予定です。

## クロスロードカフェ

阪神・淡路大震災をきっかけに、長年まちづくりに携わっています。活動を通して、拠点となる場所が作りたいと、カフェを開業しました。

こちらは伊丹のまちづくりの拠点、クロスロードカフェです。



あらい ひろゆき 荒木 宏之さん

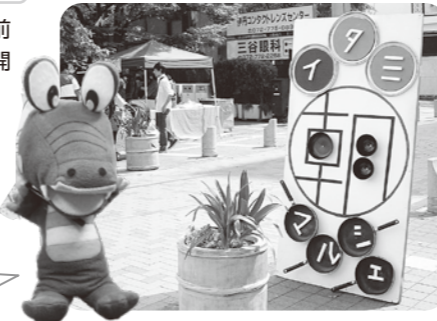
荒木さんは、多くの人を巻き込みコトを起こしたい人を支える力強い存在です。「若い人を前に前に!」という思いがもたらされています。自然体で温かく、初めてまちを訪れる人を迎え入れてくれます。

## EVENT イタミ朝マルシェ

開催時の様子 /

クロスロードカフェの前で、月に1度、日曜日に開催されています。

ミュージシャンのライブや手作りワークショップや美味しいものもいっぱいあるワニ!



「若い人を前に!」という思いがまちづくりを新しくしていくワニね。探検中にもまちづくりに関わる人や企業が訪れていたワニ!

いろんな場所を紹介してもらったけど、伊丹エリアがどんどん「オモろい街」になる理由は?



若い人にチャンスを与え、次世代の芽をつぶさずに、まちづくりのベテランが取り組みを応援し、支えています。結果、まちへの愛着や誇りを持つ次世代が育ち、世代交代のサイクルがうまく回っている印象があります。

中脇さんがまちづくりに関わる中で心がけていることは?

自分が「遊び心」をもつこと。あと、プロセスから支援し、横と一緒に走ることです。自由に意見を交換できる環境を整え、意見が合わないときは、小さい規模でもいいので、1度試してみます。実際やってみると、やってみてどうだったかが見えてきます。そうすることで、関係する人が、納得し、実感することができます。まちづくりを進めるうえでこの「納得」と「実感」が大切です。

中脇さん、ありがとうございました。伊丹には、関係人口を育む人や場所がたくさんあるワニね。まちづくりに関わる人をどう増やそう育てるか? 中脇さんが講師のまちづくりセミナー(P7参照)でもっと詳しい話が聞けるよ。みなさんぜひ参加してね!!



# 教えて! 谷先生



まちづくりに関わっていると、いろいろな場面でさまざまな悩みがあるもの。そんなみなさんの悩みをまちづくりアドバイザーの谷先生に相談してみましょう。



大阪府生まれ。博士(社会学)。大学講師。専門社会調査士。大学在学中より住民参加のまちづくりの実践と研究に携わり、2006年よりまちづくりNPO法人事務局として京都市の委託運営の現場で実務経験を積む。著書「モテるまちづくり」(Amazon Kindleで電子書籍として販売中)は、自費出版ながら、初版が1ヵ月で完売し、注目を集める話題作に!京都市や豊中市のまちづくりアドバイザーもつとめる。

今回の相談者  
Sさん



Sさんはお住まいの地区のまちづくり協議会を設立され、長年建築や土地利用のルールづくりに取り組んで来られ、最近地区全体のルールづくりを完了されました。でも、今後の取組みについてお悩みのご様子…

よろしくお願いします。



それはもちろん、地域にお住まいの方々です。



はい、こちらこそ。今日はどんなご相談ですか?



ですよね。では、Sさんの地域にお住まいの方々、これからどんなまちづくりを望まれているんですか?あるいは、どんなことをしてみたい、と思っておられるのでしょうか?



私が所属しているまちづくり協議会では、長年、建築や土地利用のルールづくりに取り組んできました。その結果、先日、協議会エリア全体にルールを策定することができたんです。



うーん…それは…あれ?なんだろう?よくわからないですね。沢山の人がいますし。



それはそれは、おめでとうございます。よかったですねえ。当初掲げられていた目標を達成されたということは、団体としては解散されるのですか?



ですよね。これまでのまちづくり協議会では、「建築や土地利用のルールづくり」という目標がはっきりしていたと伺いました。でもその目標を達成したので、次の目標を見つけたいということでしたね。とすると、地域の方々一人ひとりがどうしたいのか、ということから再スタートするタイミングなのかもしれません。



いえ、団体自体は続けるつもりです。



あ、そうなんですね。団体として、何か新しい目標が見つかったと?



具体的には何から始めたらいいんでしょうかね?



いえ…、それがありません。



…ん?目標がない、ということですか?



例えば地域の方々が集まって、好きなことや、やってみたいこと、地域の中で気になっていることを語り合う場を持つとか。そこから何か地域でやってみたい活動があるという人も出てくるかもしれません。そういう人を後ろから支えていく団体を目指すというのは、どうでしょう?



はい。なかなか妙案が浮かばないんです。いい目標はないですかね?



なんだか「マラソンでゴールしたのに、まだ走りたいから、次の行き先を教えてください」みたいな話ですね。Sさんは、なんで団体を続けたいんですか?



これまでの活動を通じて、せっかく仲間やノウハウができたんだし。もったいないじゃないですか。それをどうにか活かしたいなあ。



なるほど、そうなんですね。では、そんなまちづくり協議会が、仲間やノウハウを活かして、幸せにしていきたいのは、誰ですか?



えー、でもそんなこといっても、みんな参加してくれるかなあ…。



初めてやることでもんね、そりや不安ですよ。しかし、まちづくり協議会は、これまで長年地域の方々との間に信頼関係を培ってこられたのですから、みなさんが呼びかければ、何らかの思いを持った人が集まってくれるのではないのでしょうか。



お待ちしています!

9月7日(土)に開催のとよなか地域創生塾公開講座にて、谷先生が講演!ご期待ください。  
【お問合せ】とよなか都市創造研究所 ☎06-6858-8811

「教えて!谷先生」の誌面上で取り上げてほしい質問がある方は、以下にご送付ください。  
【送り先】豊中市都市計画課地区まちづくり係  
郵送→〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1  
メール→machi@city.toyonaka.osaka.jp

## 各地区で地区計画の取組みが広がっています

### 永楽荘2丁目地区・新千里西町3丁目地区の2団体に 大阪府まちづくり功労者感謝状が授与されました

大阪府は魅力あるまちづくりの推進に顕著な功績のあった個人又は団体の取組みに対して、大阪府まちづくり功労者感謝状を贈呈しています。このたび、平成31年1月30日に永楽荘2丁目地区計画検討会・新千里西町3丁目自治会の2団体に同感謝状が授与されました。

永楽荘2丁目地区は、ゆとりある宅地が細分化されたことによるまちなみの変化を目的とし、これ以上の細分化によるまちなみの変化を食い止めようと、住民有志のみなさんで検討会を立ち上げ、土地利用のルールづくりを始められました。

新千里西町3丁目地区は、これまで自治会の申し合せにより、ゆとりある良好な住環境を守ってこられました。そのなかで、法的効力のある地区計画にルールを移行することで、今後も住環境を守り育てていくことを目的として、自治会を主体に検討を進められました。

その後、両地区とも権利者の合意形成を経て、それぞれ地区計画素案を市に申し出。その結果として、平成30年5月9日に「永楽荘2丁目地区地区計画」が、平成30年8月8日に「新千里西町3丁目地区地区計画」が、それぞれ決定されました。

このような地区の住環境の保全・継承に貢献した功績に対し、大阪府公館にて第35回大阪府まちづくり功労者感謝状贈呈式が行われ、大阪府知事の感謝状が送られました。



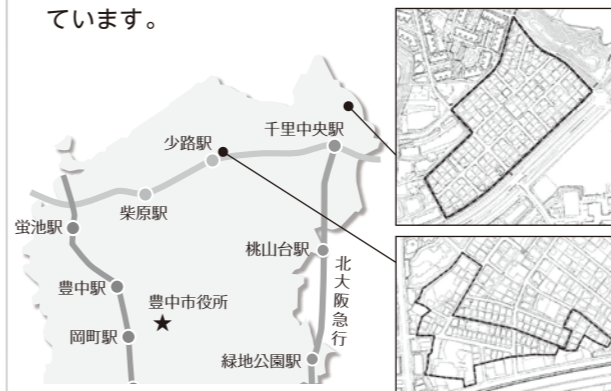
贈呈式当日の記念撮影の様子

### 緑丘地区・新千里北町3丁目地区から 地区計画の申し出がありました

緑丘まちづくり協議会では、これまで培われてきた良好な住環境を守るため、平成19年6月に地区計画を策定し、その後区域拡大を6回に渡って進めてこられました。今回新たに区域拡大するため、平成31年2月24日に、地区計画素案を豊中市に申し出されました。

新千里北町3丁目自治会では、これまで継承してきた地区の良好な住環境の維持を目的として、平成28年度より自治会エリアを区域とした地区計画の検討・合意形成を進めてこられ、平成31年4月7日に地区計画素案を豊中市に申し出されました。

市では、両地区とも地区計画による制限が必要であると判断し、申出書をもとに原案を作成し、手続きを進めています。



新千里北町3丁目地区区域図

緑丘地区拡大区域図

#### 地区計画とは?

建物用途や敷地面積などの土地利用のルールについて、住民発意で定める都市計画法に基づく制度。地区の特性に合った細かなルールにより、住環境を維持・継承していくことが期待できます。



# まちづくり人リレー



このコーナーは、自身の暮らすまちをより良くしたいと奮闘されている豊中のまちづくり人を紹介する連載です。



ふちがみ ももこ だんらんがや  
**渕上 桃子さん** (団楽長屋プロジェクト代表)

渕上さんは、こどもを中心とした多世代交流の拠点づくりをめざし、団楽長屋プロジェクトを立ち上げられました。このプロジェクトでは地域子育て支援の一環として学童保育や保育園を運営するほか、こどもがつくるフリーペーパー『だんらんしんぶん』などの取組みを通じて、地域に根差した様々な活動をされています。

**Q** 団楽長屋プロジェクトを立ち上げられたきっかけを教えてください。

**A** シングルマザーとなったことを機に豊中に引っ越しをしてきた時の悩みが「こどもの預け先がなく、仕事が探せないこと」でした。そこで、私と同様にこどもを気軽に預けられる場所が欲しいと思う人も多いのではないかと、またひとり親家庭や核家族のこどもでも多世代の人と交流し、多様な価値観の中で子育てできる機会があればいいなと思ったことが活動のきっかけです。

**Q** 最初の拠点探しや部屋の改装などで苦労された点はありますか。

**A** 当初、市内の別地域で物件を探していましたが、こどもが頻繁に出入りするのには困ると断られ続けました。その後、蛍池で条件に合いそうな物件があると聞き、交渉したところ大家さんのご協力もあり、団楽長屋をスタートすることができました。ここは開かれた交流の場にしたいだったので、大家さんと相談して、壁を取り除きつつ耐震補強を施しました。今も実施事業の用途に合わせて、たくさんの方の協力を得ながら少しずつ改装をしています。



壁がなくなることで、広々とした空間に。

**Q** プロジェクト立ち上げ当初に大変だったことや、活動での課題があれば教えてください。

**A** 活動を立ち上げる時は、苦労よりも楽しさが勝りました。むしろ難しいのはその活動を継続することではないでしょうか。そのために必要なことは頑張らずにすぎないことだと思います。人に上手く頼ること、任せることで体力的にも気力的にも続くようにしていくことも大切です。今後は団楽長屋の核となってくれる人材をどう増やしていくかが重要だと考えています。

**Q** 今後の活動への想いや、まちづくりに関する想いについて教えてください。

**A** 団楽長屋には、通常の公的なサービスではカバーしきれない夜間や日曜などにおける保育に関する相談が時々あります。今後はそのようなニーズに応えていくことができれば、団楽長屋が地域から頼られ、任せてもらえる拠点となっていけるのではないかと考えています。



地域子育て支援の一環として毎月実施しているおざしきベビーマッサージ。

地震等の災害に備えるには、日頃から対策を進めていくことが重要であることから、豊中市では災害に強いまちづくりを進めるため、次のような補助制度を設けています。各制度の補助金の対象となる要件や申込方法、補助金額などの詳細については、市ホームページを参照していただくか、各担当課までお問い合わせ下さい。



## 住まいの地震対策に補助します

本市では、災害に強いまちづくりを進めるため、耐震診断、木造住宅の耐震改修・耐震設計・除却に関する補助制度があります。

【対象となる建物】  
 昭和56年(1981年)5月31日以前に建築された住宅(その他に詳細な要件あり)

お問合せ 建築審査課 TEL: 06-6858-2417

ホームページはこちら



## ブロック塀などの撤去費を補助します

平成30年(2018年)6月18日に発生した地震を教訓に、ブロック塀などの撤去に対する費用の補助制度(豊中市ブロック塀等撤去補助金)を設けています。

【対象となるもの】  
 道路(私道を含む)に面し、道路面からの高さが60cmをこえるブロック塀など(コンクリートブロック造、石造・れんが造の組積造など)を撤去する工事

お問合せ 建築審査課 TEL: 06-6858-2417

ホームページはこちら



## 新規 分譲マンションの耐震設計・耐震改修費を補助します

令和元年度(2019年度)から分譲マンションを対象とした補助制度を新たにはじめました。

【対象となる建物】  
 昭和56年(1981年)5月31日以前に建築され、耐震性が不足と診断された地階を除く3階以上かつ延床面積1,000㎡以上の非木造の分譲マンション(その他に詳細な要件あり)



お問合せ 建築審査課 TEL: 06-6858-2417

ホームページはこちら



## 庄内・豊南町地区における木造住宅等の除却(解体)費を補助します

地震等による大規模な火災発生時の延焼拡大の防止等、災害に強いまちにするために、庄内・豊南町地区において、木造住宅等の除却費の補助を実施しています。

【対象となる区域】  
 庄内・豊南町地区  
 (町丁目名の詳細はホームページ等でご確認下さい)

【対象となる建物】  
 昭和56年(1981年)5月31日以前に建築された木造の建築物

ホームページはこちら



対象区域

お問合せ 市街地整備課 TEL: 06-6858-2342

## 関係人口を育む！オモろい街のAtoZ

まちと人には多様な関わり方があります。今話題の「関係人口」。交流人口と定住人口の間において、観光以上、移住未滿の新しい人の動きを表現する言葉です。

今回のセミナーでは、某有名雑誌にも取り上げられた伊丹の関係人口獲得の取組みに長年携わられているプランナー中脇 健児さんを講師にお招きし、その他の地域での実例を交えながら、来街者も住民も事業者もスタッフも参加する全ての人の遊び心をくすぐるオモろい街づくりの秘訣をお伝えします。

**開催日** 令和元年(2019年)7月18日(木)

**時間** 午後7時～9時(開場:午後6時45分)

**場所** とよなか国際交流センター 会議室2  
豊中市玉井町1-1-1-601 阪急豊中駅直結「エトレ豊中」6階

**講師** 場とコトLAB 代表 なか わき けん じ **中脇 健児**さん

入場無料

手話通訳あり

保育あり(有料、要事前申込み)

保育が必要な方は、  
7月11日(木)までに  
お知らせください。

※保育は1歳～小学3年生が対象  
で、1人につき費用200円

### プロフィール

大阪芸術大学在学中に「美術館の外で、日常の中にアートを」テーマに20作家が参加し、大阪ビジネスパークの特徴を活かした展覧会を企画する。卒業後、財団法人伊丹市文化振興財団(現在は公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団)の職員としていたみホールに勤務する。いたみホールなど街なかの資源を活かすことを考え、「伊丹オトラク」「鳴く虫と郷町」を企画し、話題となる。その後、「場とコトLAB」を立ち上げ、「遊び心」をキーワードに、アート、コミュニティプログラム、地場産業支援、教育、福祉など多岐に渡る活動を展開中。近年はファシリテーションやワークショップの専門家育成にも努める。



主催・申込み・問合せ

豊中市役所 都市計画課 地区まちづくり係  
TEL:06-6858-2197 FAX:06-6854-9534  
メール:machi@city.toyonaka.osaka.jp



市ホームページ「まちづくり環境」→「まちづくり支援」→「まちづくり講座・セミナー」  
→「まちづくりセミナー」をクリック

座席数に限りがございますので、できる限り事前に電話・FAX・メールまたは市ホームページで、名前・電話番号・所属団体・保育の希望をご記入し、お申込みください。

◀ホームページはこちら